

防犯・防災

アレルギー対応の非常食も常備すべき



田中 博文 議員

近年、アレルギー体質の赤ちゃん用粉ミルクや特定原材料を一切含まないアルファ米食品、米粉注2を使ったクッキーなど、多くのメーカーから、さまざまなアレルギー対応の非常食が販売されるようになった。東日本大震災のときには、アレルギー対応食が不足し、多くの子供たちが苦しんだことを教訓とし、アレルギー対応の非常食を早急に常備すべきではないか。

答

アレルギー対応食については、コスト面の検討が必要であるため、全部というわけにはいかないが、今年度整備する備蓄品の中で、アレルギー対応食を購入したい。



生活・環境

森園海岸浅場の利用計画は作成したのか



大崎 敏明 議員

県が実施した森園海岸を砂浜化する浅場づくり事業が完了し、検証の結果、アサリの稚貝等の発生が確認された。市が県に海岸の利用計画を提出した上で、平成29年度には管理を含め大村市に移譲される予定であった。市は市民が海に親しめるような利用計画を作成し、県に提出したのか。

答

浅場造成された森園海岸については、干潮時にしか浅場は出現せず、また、スロープの設置を県に申し入れたが、東日本大震災以降、波受け堤防に開口部を設けることは、法令等の制限が非常に厳しくなっているとの回答があったため、イベント等の開催は困難と判断し、これまでどおり、県に管理をお願いした。このため、利用計画も提出していない。現状でクリアすべき課題は多いが、どのようなことができるのか、引き続き検討したい。

市政一般



質問

9月定例会では、21名の議員が質問を行いました。主な内容をご紹介します。

索引

- 防犯・防災 …………… P8
- 生活・環境 …………… P8
- 福祉・医療・保健 …… P9
- 産業・経済・労働 …… P10.11
- 教育・文化・スポーツ … P11.12
- 都市整備 …………… P12~15
- 行財政・一般 ………… P15~18

生活・環境

生ごみの分別収集・たい肥化に取り組むべき



大崎 敏明 議員

環境センターの焼却炉はあと10年で更新を迎えるが、新炉建設には莫大な費用が予想される。燃やせるごみと生ごみを分別収集し、生ごみをたい肥化することで、燃やせるごみは半分になり、炉の延命や新炉建設コストの低減も図ることができる。分別収集の必要性を市民に説明し、協力を求めるなど検討を始めるべきだ。

答

生ごみの分別収集・たい肥化については、パッカー車に分別した可燃ごみと生ごみを一緒に投入することができず、また、生ごみのみを週2回収集した場合の経費は、年間約1億円と試算している。財政的な問題もあるが、生ごみ分別の実現可能な方法について積極的に研究したい。

